

## 器具省令（技術上の基準）と解釈（技術的内容）の対比＜特定液化石油ガス器具等＞

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3）の技術上の基準			液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
			カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
1 一 般 要 求 事 項	(1) 安全原則	イ 液化石油ガス器具等は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	—	—	—	—	—	—	—
		ロ 液化石油ガス器具等は、当該液化石油ガス器具等の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	—	—	—	—	—	—	—
	(2) 安全機能を有する設計等	イ 液化石油ガス器具等は、1(1)の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14(1)(2) 器具ガバナー又は減圧機構の有無</li> <li>・15(1)(2) 適用ガス用容器と接合するものの調整器又は減圧機構の有無</li> <li>・24 容器から取り出す液化石油ガスの状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 立ち消え安全装置の炎検出部の機能及び改造防止</li> <li>・13(2) 自然排気式のもの逆風止めの有無</li> <li>・13(3) 自然排気式のもの排ガスの流出</li> <li>・13(4)ロ 自然排気式のもの燃焼ガスの流出安全装置の機能と炎の安定性（安全装置が作動するまでの間）及び改造防止</li> <li>・13の2(1) 自然排気式不完全燃焼防止機能</li> <li>・13の2(2) 自然排気式不完全燃焼防止機能と改造防止</li> <li>・14(2)イロハ 強制排気式のもの液化石油ガス通路の閉止と改造防止</li> <li>・14の2(1) 強制排気式不完全燃焼防止機能（自室汚染）</li> <li>・14の2(2) 強制排気式不完全燃焼防止機能（他室汚染と部分不燃）</li> <li>・14の2(3) 強制排気式不完全燃焼防止機能と改造防止</li> <li>・15(1) 強制排気式のものうち排気部の出口を排気ダクトに直結するものの炎の安定性</li> <li>・15(2) 強制排気式のものうち排気部の出口を排気ダクトに直結するものの風量低下（徐々に低下）時の排ガスの流出</li> <li>・15(4) 強制排気式のものうち排気部の出口を排気ダクトに直結するものの液化石油ガス通路の閉止</li> <li>・18(1)イロハニ 先止め式のもの熱交換部損傷安全装置の機能と改造防止</li> <li>・24 空だき防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 立ち消え安全装置の炎検出部の機能及び改造防止</li> <li>・13(2) 自然排気式のもの逆風止めの有無</li> <li>・13(3) 自然排気式のもの排ガスの流出</li> <li>・13(4)ロ 自然排気式のもの燃焼ガスの流出安全装置と炎の安定性（安全装置が作動するまでの間）及び改造防止</li> <li>・13の2(1) 自然排気式不完全燃焼防止機能</li> <li>・13の2(2) 自然排気式不完全燃焼防止機能と改造防止</li> <li>・14(2)イロハ 強制排気式のもの炎の安定性及び液化石油ガス通路の閉止と改造防止</li> <li>・14の2(1) 強制排気式不完全燃焼防止機能（自室汚染）</li> <li>・14の2(2) 強制排気式不完全燃焼防止機能（他室汚染と部分不燃）</li> <li>・14の2(3) 強制排気式不完全燃焼防止機能と改造防止</li> <li>・17(1)イロハニ 給湯部（先止め式のもの）の熱交換部損傷安全装置の機能と改造防止</li> <li>・24(4) 空だき安全装置の改造防止</li> <li>・25(1) 給湯部の空だき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の24(4) 空だき安全装置の改造防止</li> <li>・4(2) 半密閉式バーナー付ふろがまの項の13(2) 自然排気式のもの逆風止めの有無</li> <li>・4(2) 半密閉式バーナー付ふろがまの項の13(3) 自然排気式のもの排ガスの流出</li> <li>・4(2) 半密閉式バーナー付ふろがまの項の13(4)ロ 自然排気式のもの燃焼ガスの流出安全装置と炎の安定性及び改造防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の9 立ち消え安全装置の炎検出部の機能及び改造防止</li> <li>・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の24(4) 空だき安全装置の改造防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 立ち消え安全装置の炎検出部の機能</li> <li>・14(2) 自然排気式のもの逆風止めの有無</li> <li>・14(3) 自然排気式のもの排ガスの流出</li> <li>・14(4)ロ 自然排気式のもの炎の安定性（安全装置が作動するまでの間）</li> <li>・15(2)イロ 強制排気式のもの液化石油ガス通路の閉止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11 ホースガス栓の過流出安全機構の性能</li> <li>・12 ホースガス栓の過流出安全機構の解除</li> </ul>

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3）の技術上の基準			液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
			カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
	<p>ロ 液化石油ガス器具等は、1(2)イの規定による措置のみによつてはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該液化石油ガス器具等の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該液化石油ガス器具等又はこれに附属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。</p> <p>ハ 別表第一第十四号又は第十六号の液化石油ガス器具等にあつては、ガス漏れ又は地震による被害を防止するための機能を有するよう設計されるものとする。</p>								
(3) 供用期間中における安全機能の維持	液化石油ガス器具等は、当該液化石油ガス器具等に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>27(1)(2)(3)(4)(5) 反復使用試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22の2 電装基板のはんだ部の耐久性</li> <li>26(1)(2)(3)(4)(5)(6) 反復使用試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22の2 電装基板のはんだ部の耐久性</li> <li>26(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8) 反復使用試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の22の2 電装基板のはんだ部の耐久性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 反復使用試験 半密閉式バーナー付ふろがまの項の26(1)(2)(4)(5)(6)(7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>26(1)(2)(3)(4)(5)(6) 反復使用試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>26 過流出安全機構の反復使用試験</li> </ul>	
(4) 使用者及び使用場所を考慮した安全設計	液化石油ガス器具等は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計されているものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 点火性能</li> <li>8(2) 組込型こんろの容器と燃焼器との接合部の構造（器具栓が閉じた状態）</li> <li>17 予備容器の組込みができない構造</li> <li>26(2) 空気調節器の操作・表示</li> <li>29 組込型こんろの汁受け及びごとく反転防止</li> <li>30 組込型こんろの燃焼器と容器の適正な接続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 点火性能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 点火性能</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の4 点火性能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 点火性能</li> <li>19(1) 液化石油ガスの取入部（迅速継手と接続するもの）の着脱性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7(1) ねじガス栓及び可とう管ガス栓の入口側及び出口側の取付部（ねじ込み式）</li> <li>7(2) ねじガス栓及び可とう管ガス栓の入口側及び出口側の取付部（ユニオン接続）</li> <li>7(3) ねじガス栓及び可とう管ガス栓の入口側及び出口側の取付部（配管用フレキ管）</li> <li>8 ホースガス栓の入口側の取付部のねじ</li> <li>9 ホースガス栓の出口側の取付部の形状</li> <li>10 呼び及び口数</li> <li>13 入口側又は出口側の取付部が自由に回る構造</li> <li>14 取付部のねじの締付部</li> <li>15 つまみ等のストップ機構</li> <li>16 つまみ等の回転角度が90度のものの開閉操作</li> <li>17 つまみ等が容易に取り外せない構造のもののガス通路の開閉状態</li> <li>18 つまみ等が容易に取り外せる構造のもののガス通路の開閉状態</li> <li>19(1) ホースガス栓及び可とう管ガス栓のつまみ等を有するものの構造（ロック機構）</li> <li>19(2) ホースガス栓の</li> </ul>	

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3）の技術上の基準			液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
			カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
									つまみ等を有するものの構造(ボックス型ガス栓) <ul style="list-style-type: none"> <li>20 つまみを有しないガス栓の構造</li> <li>21 気密試験</li> <li>22 通過空気量試験</li> <li>23 操作力試験</li> <li>32 温度試験</li> </ul>
(5) 耐熱性等を有する部品及び材料の使用	液化石油ガス器具等には、当該液化石油ガス器具等に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、耐食性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 シール材、パッキン類、弁及びダイヤフラムの耐ガス性</li> <li>8(1) 組込型こんろの容器と燃焼器との接合部の構造(容器の移動方向)</li> <li>8(3) 組込型こんろの容器と燃焼器との接合部の構造(スプリングの使用の有無)</li> <li>11 適用除外ガス用容器と接合する硬質管以外の管の試験</li> <li>12(1) イロハニ(2)(3)イロ(4)(5)(6)(7)適用ガス用容器と接合する硬質管以外の管の試験(容器と調整器との間)</li> <li>13 適用ガス用容器と接合する硬質管以外の管の試験(調整器と燃焼器の間)</li> <li>20(2)イロハ 各部の温度上昇(部品に対する耐熱性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 シール材、パッキン類、弁及びダイヤフラムの耐ガス性</li> <li>13(1) 自然排気式のもの排気筒の内径</li> <li>14(1) 強制排気式のもの排気部の気密性</li> <li>17(2)イロハ 各部の温度上昇(部品に対する耐熱性)</li> <li>19 液化石油ガスの取入部(ねじと接続するもの)の適合性</li> <li>21 水ダイヤフラム室の構造</li> <li>27(2) 断続燃焼試験(熱交換部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 シール材、パッキン類、弁及びダイヤフラムの耐ガス性</li> <li>13(1) 自然排気式のもの排気筒の内径</li> <li>14(1) 強制排気式のもの排気部の気密性</li> <li>16(2)イロハ 各部の温度上昇(部品に対する耐熱性)</li> <li>18 液化石油ガスの取入部(ねじと接続するもの)の適合性</li> <li>20 水ダイヤフラム室の構造</li> <li>21 水に接する部分の気密性</li> <li>27(2) 断続燃焼試験(熱交換部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の21 水に接する部分の気密性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の27(2)断続燃焼試験(熱交換部)</li> <li>4(1) 自然排気式のもの排気筒の内径</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の3 シール材、パッキン類、弁及びダイヤフラムの耐ガス性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の18 液化石油ガスの取入部(ねじと接続するもの)の適合性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の27(2)断続燃焼試験(熱交換部)</li> <li>4(2) 各部の温度上昇(部品に対する耐熱性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐熱性</li> <li>2 耐食性</li> <li>3 ほうろうバーナーの強度</li> <li>4 シール材、パッキン類、弁及びダイヤフラムの耐ガス性</li> <li>14(1) 自然排気式のもの排気筒の内径</li> <li>15(1) 強制排気式のもの排気部の気密性</li> <li>17(2)イロハ 各部の温度上昇(部品に対する耐熱性)</li> <li>18 液化石油ガスの取入部(迅速継手と接続するもの)の形状、寸法(部品に対する耐熱性)</li> <li>19(2) 液化石油ガスの取入部(迅速継手と接続するもの)の気密性</li> <li>19(3) 液化石油ガスの取入部(迅速継手と接続するもの)の強度</li> <li>20 液化石油ガスの取入部(ねじと接続するもの)の適合性</li> <li>25 金属網製の燃焼面の掃除</li> <li>27(2) 断続燃焼試験(熱交換部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 耐食性</li> <li>2 弾性材を使用するものの栓の材質</li> <li>3(1) 弾性材を使用しないものの栓の材質(使用上支障のあるその他の欠陥の有無)</li> <li>3(2) 弾性材を使用しないものの栓の材質(使用上支障のある傷その他の欠陥の有無)</li> <li>3(3) 弾性材を使用しないものの栓の材質(耐ガス性)</li> <li>3(4) 弾性材を使用しないものの栓の材質(耐熱性)</li> <li>4 スプリング及びスプリング座金の耐食性</li> <li>5 弾性材、Oリング及びパッキンの耐ガス性</li> <li>6(1) ヒューズホール等の材質(使用上支障のある傷その他の欠陥の有無)</li> <li>6(2) ヒューズホール等の材質(耐ガス性)</li> <li>6(3) ヒューズホール等の材質(耐熱性)</li> </ul>	
2 危険源に対する保護	(1) 火災の危険源からの保護	液化石油ガス器具等には、発火又は発熱によつて人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>8(5) 組込型こんろの容器と燃焼器との接合部の構造(ガスの滞留)</li> <li>20(1) 各部の温度上昇(木壁・乾電池)</li> <li>22(1)(2)イロ(3)イロ 液化石油ガス通路の気密性</li> <li>23 容器と燃焼器との結合部の気密性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17(1) 各部の温度上昇(乾電池・木壁)</li> <li>18(2) 先止め式のもの熱交換部の異常試験</li> <li>20(1)(2)(3)(4) 液化石油ガス通路の気密性</li> <li>27(1) 断続燃焼試験(液化石油ガス通路の気密性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>16(1) 各部の温度上昇(乾電池・木壁)</li> <li>17(2) 給湯部(先止め式のもの)熱交換部の異常試験</li> <li>19(1)(2)(3)(4) 液化石油ガス通路の気密性</li> <li>27(1) 断続燃焼試験(液化石油ガス通路の気密性)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 各部の温度上昇(木壁)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の19(1)(2)(3)(4) 液化石油ガス通路の気密性</li> <li>3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の27(1)断続燃焼試験(液化石油ガス通路の気密性)</li> <li>4(1) 各部の温度上昇(乾電池)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17(1) 各部の温度上昇(乾電池・液化石油ガスの取入部・木壁)</li> <li>21(1)(2)(3)(4) 液化石油ガス通路の気密性</li> <li>27(1) 断続燃焼試験(液化石油ガス通路の気密性)</li> </ul>	
	(2) 火傷の防止	液化石油ガス器具等には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>16 耐圧性</li> <li>18 燃焼器からの液化石油ガスの放出</li> <li>20(1) 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> <li>21 容器内圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17(1) 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> <li>24 蒸気の噴出防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>16(1) 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> <li>25(1)(2) 給湯部の蒸気の噴出防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4(1) 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17(1) 各部の温度上昇(つまみ類・手の触れるおそれのある部分)</li> <li>24 放射体のガード</li> </ul>	

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3）の技術上の基準		液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
		カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
(3) 液化石油ガス器具等自体又は外部から加わる作用によって生じる機械的な動作を原因とする危害の防止	イ 液化石油ガス器具等には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	・10 傾斜試験						
	ロ 液化石油ガス器具等には、通常起こり得る外部からの作用により生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。	・5(3) 放電装置の電極の固定 ・9 分離型こんろの接合部の引張試験 ・25 荷重試験 ・26(1) 空気調節器の設置位置 ・28 落下試験及び振動試験	・6(3) 放電装置の電極の固定 ・25 凍結防止の措置の有無 ・28 振動試験	・6(3) 放電装置の電極の固定 ・25(3) 給湯部の凍結防止の措置の有無 ・28 振動試験	・6 バーナーの位置の固定	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の6(3) 放電装置の電極の固定 ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の28 振動試験 ・5 バーナーの位置の固定 ・6 パイロットバーナーの位置の固定	・7(3) 放電装置の電極の固定 ・23 放射体の固定 ・28 振動試験	・24 反復使用試験 ・25 入口側及び出口側の取付部が自由に回る機構の反復使用試験 ・27 ロック機構の反復使用試験 ・28 衝撃力試験 ・29 静荷重試験 ・30 ねじ込み力試験 ・31 ストップ機構の強度試験 ・33 引張力試験
(4) 無監視状態での運転を考慮した安全設計	液化石油ガス器具等は、当該液化石油ガス器具等に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計されているものとする。	・8(4) 組込型こんろの容器と燃焼器との接合部の構造（高圧になったときの液化石油ガスの供給停止）	・8 立ち消え安全装置の有無	・8 立ち消え安全装置の有無 ・24(1)(2)(3) 空だき安全装置の機能	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の24(1)(2)(3) 空だき安全装置の機能	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の8 立ち消え安全装置の有無 ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の24(1)(2)(3) 空だき安全装置の機能	・9 立ち消え安全装置の有無	
(5) 始動、再始動及び停止による危害の防止	イ 液化石油ガス器具等は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	・6(1)(2) 着火性能（確実な着火及び爆発的着火の有無・火移り）	・5 点火動作が自動的に行われるもの及びパイロットレスのものに安全に点火することの確認 ・7(1)(2) 着火性能（確実な着火及び爆発的着火の有無・火移り） ・10 立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間） ・11(2) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間）	・5 点火動作が自動的に行われるもの及びパイロットレスのものに安全に点火することの確認 ・7(1)(2) 着火性能（確実な着火及び爆発的着火の有無・火移り） ・10 立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間） ・11(2) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間）		・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の5 点火動作が自動的に行われるもの及びパイロットレスのものに安全に点火することの確認 ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の7(1)(2) 着火性能（確実な着火及び爆発的着火の有無・火移り） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の10 立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の11(2) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間）	・6 点火動作が自動的に行われるもの及びパイロットレスのものに安全に点火することの確認 ・8(1)(2) 着火性能（確実な着火及び爆発的着火の有無・火移り） ・11 立ち消え安全装置の閉弁（不点火時の閉弁時間） ・12(2) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁及び再点火時の安全性（不点火時の閉弁時間）	
	ロ 液化石油ガス器具等は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。		・10 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・11(1) 再点火型立ち消え安全装置の再点火時の安全性 ・11(3) 再点火型立ち消え	・10 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・11(1) 再点火型立ち消え安全装置の再点火時の安全性 ・11(3) 再点火型立ち消え		・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の10 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の11(1)	・11 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・12(1) 再点火型立ち消え安全装置の再点火時の安全性（爆発的点火） ・12(3) 再点火型立ち消え	

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3） の技術上の基準		液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
		カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
			安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・12 交流電源を使用するものの停電後、再通電時の安全性	安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・12 交流電源を使用するものの停電後、再通電時の安全性		再点火型立ち消え安全装置の再点火時の安全性 ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の11(3)再点火型立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の12 交流電源を使用するものの停電後、再通電時の安全性	え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（2回目以降）） ・13 交流電源を使用するものの停電後、再通電時の安全性	
	ハ 液化石油ガス器具等は、不意な動作の停止によつて人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	・7 消火性	・10 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目）） ・11(3) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目））	・10 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目）） ・11(3) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目））		・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の10 再点火型以外の立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目）） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の11(3) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目））	・11 立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目）） ・12(3) 再点火型立ち消え安全装置の閉弁（消火時の閉弁時間（1回目））	
(6) 異常燃焼 又は有害な燃焼ガスの発生による 危害の防止	液化石油ガス器具等は、通常の使用状態において、異常燃焼又は有害な燃焼ガスの発生により人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計その他の措置が講じられるものとする。	・5(1) 放電装置の電極部の位置（黄炎の接触） ・19 燃焼状態試験（リフティング・消火・逆火・すすの発生・理論乾燥燃焼ガス中の一酸化炭素濃度）	・6(1) 放電装置の電極部の位置 ・13(4)イ 自然排気式のものの炎の安定性（上昇風及び下降風） ・14(1) 強制排気式のものの炎の安定性 ・15(3) 制排気式のもののうち排気部の出口を排気ダクトに直結するものの風量低下（50%低下）時の排ガスの流出 ・16 燃焼状態試験（リフティング・消火・逆火・すすの発生・理論乾燥燃焼ガス中の一酸化炭素濃度） ・23 水滴落下試験 ・27(3) 断続燃焼試験（逆火及び一酸化炭素濃度）	・6(1) 放電装置の電極部の位置 ・13(4)イ 自然排気式のものの炎の安定性（上昇風及び下降風） ・14(1) 強制排気式のものの炎の安定性 ・15 燃焼状態試験（リフティング・消火・逆火・すすの発生・燃焼ガス中の一酸化炭素濃度） ・23 水滴落下試験 ・27(3) 断続燃焼試験（逆火及び一酸化炭素濃度）	・4(2) 半密閉式バーナー付ふろがまの項の13(4)イ 自然排気式のものの炎の安定性（上昇風及び下降風） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の23 水滴落下試験	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の6(1) 放電装置の電極の位置 ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の15 燃焼状態試験（リフティング・消火・逆火・すすの発生・燃焼ガス中の一酸化炭素濃度） ・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の27(3) 断続燃焼試験（逆火及び燃焼ガス中の一酸化炭素濃度）	・7(1) 放電装置の電極部の位置 ・14(4)イ 自然排気式のものの炎の安定性（上昇風及び下降風） ・15(1) 強制排気式のものの炎の安定性 ・16 燃焼状態試験（リフティング・消火・逆火・すすの発生・燃焼ガス中の一酸化炭素濃度） ・27(3) 断続燃焼試験（逆火及び一酸化炭素濃度）	
(7) 感電に対する保護	液化石油ガス器具等は、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 （イ）危険な充電部への人の接触を防ぐこと。  （ロ）接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	・5(2) 放電装置の高圧配線の被覆	・6(2) 放電装置の高圧配線の被覆	・6(2) 放電装置の高圧配線の被覆		・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の6(2) 放電装置の高圧配線の被覆	・7(2) 放電装置の高圧配線の被覆	
			・22 交流電源を使用するものの絶縁性	・22 交流電源を使用するものの絶縁性	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の22 交流電源を使用するものの絶縁性	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の22 交流電源を使用するものの絶縁性	・22 交流電源を使用するものの絶縁性	

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3）の技術上の基準			液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
			カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
	(8) 絶縁性能の保持	液化石油ガス器具等は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。		・22 交流電源を使用するものの耐電圧性	・22 交流電源を使用するものの耐電圧性	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の22 交流電源を使用するものの耐電圧性	・3 半密閉式バーナー付ふろがまの項の22 交流電源を使用するものの耐電圧性	・22 交流電源を使用するものの耐電圧性	
	(9) ガス漏れによる被害の防止	別表第一第十四号の液化石油ガス器具等は、通常の使用状態において、ガス漏れを検知し、遅滞なく警報を発するように設計されているものとする。							
	(10) 地震による被害の防止	別表第一第十六号の液化石油ガス器具等は、通常の使用状態において、震度五相当以上の地震を検知したときに、遅滞なくガスの通路を遮断するように設計されているものとする。							
3 表示	(1) 一般	液化石油ガス器具等は、安全上必要な情報及び使用上の注意を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	・31 表示事項	・29 表示事項	・29 表示事項	・7 表示事項	・8 表示事項	・29 表示事項	・34 表示事項
	(2) 個別の規定	イ 3(1)の規定による表示には、次の(イ)から(ニ)に掲げる液化石油ガス器具等の区分に応じ、それぞれ(イ)から(ニ)に定める事項を含むこと。 (イ) 別表第一第一号から第七号までの液化石油ガス器具等 届出事業者の氏名又は名称、法第四十七条第二項に規定する証明書の交付を受けた国内登録検査機関又は外国登録検査機関（以下「検査機関」と総称する。）の氏名又は名称 (ロ) 別表第一第八号から第十六号までの液化石油ガス器具等 届出事業者の氏名又は名称 (ハ) 別表第一第五号の液化石油ガス器具等 使用すべきふろがまの型式 (ニ) 別表第一第十号及び第十三号の液化石油ガス器具等のうち、開放式のもの 原則として赤系色の20ポイント以上の大きさの文字で「十分な換気をしないと死亡事故に至るおそれがある。」旨の警告							

液化石油ガス器具等の技術上の基準等に関する省令（別表第3） の技術上の基準			液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び関係政省令の運用及び解釈について（別添5）の技術的内容						
			カートリッジガスこんろ	半密閉式瞬間湯沸器	半密閉式バーナー付 ふろがま	ふろがま	ふろバーナー	半密閉式ストーブ	ガス栓
		<p>ロ 3(2)イ(イ)又は(ロ)の規定により表示すべき届出事業者又は検査機関の氏名又は名称については、その者が経済産業大臣の承認を受け、又は経済産業大臣に届け出た場合に限って、その承認を受けた略称(別表第一第十三号の液化石油ガス器具等であつて、開放式のもののうち容器が組み込まれる構造のものにあつては、略称又は記号)又は届け出た登録商標(商標法(昭和三十四年法律第二百二十七号)第二条第五項の登録商標をいう。)を用いることができる。</p> <p>ハ 3(2)イ(ハ)の規定により表示すべきふろがまの型式は、経済産業大臣の承認を受けた場合は、使用すべきふろがまの表示を当該ふろバーナーに添付する書面に記載することができる。</p>							